



2018年

7月

中国四国農政局
島根県拠点

News Letter

匹見わさび「葵屋（あおいや）」

匹見わさびの復活を目指しIターンで就農10年目

益田市匹見町



わさび田

「葵屋」代表の安藤達夫氏は、京都から10年前、わさび栽培を行うため匹見にIターンで就農されました。

趣味の鮎釣りで訪れていた匹見町で、全国どこでも栽培できる産物ではない「谷わさび（根わさび）」を知りました。静岡のわさび田と違う、溪流の急斜面に石を積んだ「溪流式」と呼ばれる自然に近い方法での匹見のわさび田の栽培に魅力を感じ、自分でわさび栽培してみたいと思ったことが就農のきっかけとなりました。また、地域のわさび栽培農家は生産者の高齢化などが進み、出荷量が減少していたことから、益田市主催の「匹見わさび」の復活を目指した。

た、わさび栽培の人材掘り起こしのための栽培講座（わさびカレッジ）に参加しわさび栽培を始められました。

経営規模としては、谷わさびの栽培面積が長年作付けされていなかった「わさび田」を借受け、5～6年かけて再整備し、現時点20～30aの谷わさびと畑わさび（葉、花わさび）60aを栽培しています。わさび田の再整備には、ボランティアの助けも借りて行い、匹見わさび復活への取組みとしてメディアにも取り上げられました。

課題は、数10年放置されたわさび田を再整備しているため、規模拡大に時間を要することとしっかり根の張った優良苗を数多く必要とするため、栽培に必要なハウスを確保することとのことです。

谷わさびは、益田市出身の実業家の紹介、料理店への営業、利用いただいているお店からの紹介などで販路を拡大し関東・関西等の料理店等へ直接販売し、現時点では生産量が足りない状況となっています。

畑わさびは、付加価値を付けるため、「花わさびの醤油漬け」、「ワサビペースト」、「ワサビペースト（自然薯入り）」などを販売しています。29年度からは、他の生産者からも原材料を仕入れ加工製造を行っています。

今後は、谷わさびの生産販売だけでは、経営が難しいため、加工品の製造販売を充実させていく計画とのことです。代表の安藤氏は、「わさびをメインにして、美しい自然環境、米を初めとした地場農産品の活用、農作業体験、宿泊など、地域全体が連携しパッケージ化した取組みが行えたらと考えている。」と地域振興も目指しています。



ワサビペースト（自然薯入り）、花わさびの醤油漬け

（写真 出典元：葵屋「あおいや」）

農薬危害防止運動について

農林水産省では、厚生労働省、環境省等と共同で、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理、環境への影響に配慮した農薬の使用等を推進する「農薬危害防止運動」を6月から8月までの3か月間実施しています。

中国四国農政局においても、農薬及びその取扱いに対する正しい知識の普及啓発や農薬の適切な保管による誤飲・誤食の防止、住宅地等で農薬を使用する際の周辺への配慮の徹底、農薬使用時の農薬用マスク等防護装備着用の徹底による事故防止などの取組みを行っています。



詳しくは以下のホームページをご覧ください。

- ・プレスリリース「平成30年度農薬危害防止運動」の実施について(農林水産省ホームページ)

<http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/180425.html>

- ・農薬危害防止運動について(中国四国農政局ホームページ)

<http://www.maff.go.jp/chushi/anzen/seisan/kigaiboushi/index.html>

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第5回選定)に係る優良事例の募集について ～見つけよう!今、元気なムラの取組～



「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国へ発信するものです。このため、他の地域の参考となるような優れた地域活性化の取組を募集します。

応募期間は平成30年8月13日(月曜日)までとなっております。自薦・他薦は問いませんので、ふるってご応募ください。

詳しくは、こちらをご覧ください。

- ・プレスリリース

<http://www.maff.go.jp/chushi/press/shinko/180601.html>

- ・「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」ホームページ

<https://www.discovermuranotakara.go.jp>



◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集:中国四国農政局 島根県拠点

〒690-0001 松江市東朝日町192

TEL (0852)24-7311(内線211) FAX(0852)27-0641 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>